

## 中州救助訓練の手順について

消防本部救急救助課

中州救助訓練は、川の中州に取り残された要救助者を、川の両岸を活動拠点として救助する訓練で、想定は2つの訓練塔を岸、その間を川、安全マットを中州に見立て、安全マット上の要救助者をいずれかの塔（今回の訓練はC塔）に救助するものです。この訓練は、低所から高所への吊り上げと水平方向への移動がある立体的な訓練であるため、一般的に訓練塔を活用して行われています。

## 【手順】

- ① B塔の救助隊員が、C塔へ先端にゴム弾が付いたリードロープを投げ込んだ後、リードロープに展張ロープをつなぐ。
- ② C塔の救助隊員が、リードロープと展張ロープを引き込み固定する。
- ③ C塔の救助隊員が、B塔に向かって展張ロープを渡り、要救助者の直上に至る位置に滑車、カラビナ及びびき込み用ロープを設置した後、要救助者の位置へ降下する。
- ④ 要救助者に安全帯を取り付けた後、C塔の救助隊員が救助ロープを引き展張ロープまで吊り上げた後、引き込み用ロープを引いてC塔に救出する。

